

より良い生き方を考える続ける道徳教育

新冠中学校公開研究会



10月31日、新冠中学校で、北海道道徳教育推進校公開研究会が開かれ、全道から教育関係者83名が参加しました。研究会では、各クラスで公開授業が行われた後、北海道教育大学教職大学院の水上教授による「道徳の授業づくりをどうしたらよいか」内容項目分析と教材研究に着目しての演題で「これからの授業づくりについて話されました。」

町民が安心して生活ができるよう

地域見守り見回り活動の協定締結



11月1日、役場会議室で、地域見守り見回り活動事業の新規事業所における協定締結式が行われました。この事業は、見回り活動を通して、高齢者などが安心して生活できるようにと、町が地域住民や事業所と協力して取り組んでいるもので、この日は、新たにセイセイマサキ建設(株)、トド岩高原銀河農場(株)と協定を結び、町内の登録事業所は25社となりました。

『新冠町健康まつり』

健康であり続けるための知識深める

11月10日、レ・コード館で、病気などの予防意識の高揚を目的とした『新冠町健康まつり』が開かれ、町民など約240名が来場しました。この日は、レ・コード館の各会場で、健康に関するさまざまなコーナーが設けられ、若返りの効果が期待できる「チベットの体操体験会」、食品のロスを減らす工夫などを紹介する「食品ロス削減セミナー」、保健師・栄養士などによる健康チェックなどが行われ、多くの来場者が健康への意識を深めていました。まつりの最後には、名寄市立大学播本教授を招き『地域づくり講演会』が開催され、参加者は「これからの地域づくり」に大切なこと」などを学びました。



その1

ま ち の
話 題
あ れ こ れ

感動をありがとう!!

マヤノトップガンお別れ会



11月8日、優勝スタリオンステーションで、11月3日に体調を崩し、27歳で息を引き取った、マヤノトップガンのお別れ会が開かれました。マヤノトップガンは、字東泊津の川上牧場生産馬で平成7年の有馬記念などを制し、同年のJRA年度代表馬と最優秀3歳牡馬にも輝いた歴史に残る名馬で、お別れ会では、関係者らが集まり、同馬へ別れを告げていました。

5Gの実用化を目指し

世界初5G実証実験成功!!



11月13日、日高軽種馬共同育成公社で、競走馬の様子を高速大容量の通信規格5Gを活用し、超高精細な8K映像でライブ中継する実証実験が行われました。試験では、8Kカメラと5G端末を搭載したドローンで牧場内のコースを走る馬の撮影などが行われ、世界初となる8K超高精細映像のリアルタイム伝送に成功し、今後の軽種馬産業の新たな可能性として期待されます。

作文コンテスト入賞

中学生が笑顔の受賞

11月12日、「税についての作文」において、道税理士会会長賞を受賞した早坂葵さん(2年)と浦河地方法人会会長賞を受賞した森下広太さん(2年)の2名に対し、浦河税務署署長より表彰状が贈られました。また、11月25日には、「第39回全国中学校人権作文コンテスト札幌地方大会」において、札幌地方大会奨励賞を受賞した橋本利美さん(3年)、日高地区大会支局長賞を受賞した森永梨仰さん(3年)、日高地区大会奨励賞を受賞した増谷和哉さん(3年)の3名に対し、札幌法務局日高支局長より表彰状が贈られました。



節婦漁港 de チカ釣り体験!

釣ったチカを天ぷらでおいしく



11月2日、節婦漁港で町青年団体協議会(椎名正人会長)主催による『節婦漁港 de チカ釣り体験!』が開かれ、11名の親子らが参加しました。参加者は、慣れない釣りに苦戦しながらも、徐々にコツをつかみ、次々とチカを釣り上げました。最後には、釣ったチカを天ぷらにして、豚汁と一緒においしくいただきました。

海外GI・2連勝!!

ファイアースインパクト号



11月2日、オーストラリアフレミントン競馬場で行われた、GI・カンタラス(芝1600m)で、字高江の(南)隆栄牧場で生産されたファイアースインパクト号が先月のトゥーラックHに続き、GI・2連勝を飾りました。ファイアースインパクト号は、道中後方からレースを運んだ、最後の直線でスパートをかけ強豪馬がそろろう中、激戦を制しました。

より一層の長寿を願い

おうるの郷で白寿のお祝い



11月28日、おうるの郷で、今年99歳を迎える、山形県生まれの大道寺恭子さんに町社会福祉協議会の鎌田盛行会長より祝状と記念品が贈られました。この日は、家族や友人などたくさんの方が駆け付け白寿を祝い、大道寺さんは「私のために来ていただいた感謝申し上げます」としつかりとした口調で感謝の言葉を述べられました。

災害時における石油類燃料の

供給等に関する協定締結式



12月3日、役場会議室で、町と日高地方石油業協同組合新冠部会(伊藤健一部会長)が災害時における石油類燃料の供給等に関する協定を結びました。この協定締結により、町の施設などへの燃料供給体制が明確になり、町と供給業者との災害時における連携強化が図られることとなりました。